

所 属	県土整備部	道路建設課
担当(係)名	企 画 担 当	内線 3686
	改 良 担 当	3688
	橋りょう担当	3686
	高速道路担当	3693

( 款 ) 8 土木費 ( 項 ) 2 道路橋りょう費他 ( 目 ) (3)道路橋りょう改築費他  
( 明細書事業名 ) 公共事業他  
一般国道改築費他【大交流時代に向けた幹線ネットワーク道路の整備推進】

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
36,152,376	国 庫 9,325,000	工事請負費 12,719,363
(前年度 38,532,329)	県 債 25,878,900	(道路、橋りょう整備)
	分・負 492,670	負担金 15,198,253
	一般財源 455,806	(直轄道路事業負担金等)

## 2 事業目的

これからの大交流時代に向け、観光、産業など広域交流の基盤となる新高速三道を始めとした幹線ネットワーク道路の整備を促進し、産業経済活動、地域の活性化を支援する。

## 3 事業内容

### [県土の骨格を形成する幹線道路の整備]

県土の骨格を形成し、県経済の発展にとって不可欠となる幹線ネットワーク道路については、県土1700km骨格幹線ネットワーク構想(仮称)に基づき整備を推進する。

主な路線：〔国直轄道路〕東海環状自動車道、中部縦貫自動車道 等

〔県管理道〕(国)156号福島バイパス、(国)157号日当・平野バイパス、(国)248号関・太田バイパス 等

### [東海環状自動車道西回り区間の整備促進に向けた県民機運の醸成] (ゼロ予算)

東海環状自動車道の全線開通は、産業のみならず、文化、観光など多方面な分野に絶大な効果を県内にもたらすことを広く県民に伝え、西回り区間の整備促進に向けた機運醸成を図る。

- ・シンポジウムの開催や広報誌による広報啓発活動、整備効果に関する出前講座の実施
- ・沿線市町村の市民、企業、行政が相互に理解を深め、地域の活性化に資する新たな交流・連携の創出を促すための連絡会議を設立